



The Association for Overseas Technical Cooperation and Sustainable Partnerships

30-1, Senju-azuma 1-chome, Adachi-ku, Tokyo 120-8534

Tel: 81-3-3888-8256 Fax: 81-3-3888-8242 E-mail: shouhei-au@aots.jp URL: <http://www.aots.jp/>

技術協力活用型・
新興国市場開拓事業
(研修・専門家派遣事業)

2022年11月

募集要項

インド品質管理研修コース

The Quality Control Training Course for India

[INQC]

2023年3月2日～3月17日

1. コース開設の背景：

一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）は、主に海外の産業人材を対象とした研修及び専門家派遣等の技術協力を推進する人材育成機関です。これらの事業を通じて、日本と海外諸国相互の経済発展に貢献するとともに、友好関係の増進にも寄与します。

AOTS は 1959 年（昭和 34 年）8 月に日本で最初の民間による技術協力機関として通商産業省（現・経済産業省）の認可を受け設立され、これまでに日本で実施した研修には、2021 年度（令和 3 年度）までに世界 198 の国と地域から延べ 200,000 人余りが参加したほか、海外で実施した研修にも延べ 230,000 人余りが参加しています。

AOTS は帰国後の参加者や開発途上諸国の産業界からの要望に基づき、様々な研修コースの企画、開発に努めています。

近年、インド政府は Make in India 等の政策目標を掲げ、産業政策、投資誘致政策を推進してきており、インドの産業競争力の強化と輸出ハブへの成長を目指すといった動きが見られます。さらに、新型コロナパンデミック後の持続可能な成長のためにも、厳しいグローバル競争に勝ち抜くため、コストダウンや品質改善等の取組みが必要不可欠です。

本コースでは、企業活動における品質全般に対し、その維持・向上を図っていくための経営管理手法の Total Quality Management（TQM）を取り上げ、日本企業が実践している TQM への理解を深め、TQM・品質管理活動の推進の正しい進め方と経営者・管理者の役割を理解するとともに、QC 的視点での問題解決能力向上を目的とします。

2. 対象国：

インド

3. 参加者の人数：

22 名

4. 参加資格：

以下の資格を有することが必要です。

- (1) 原則として、製造業において TQM・品質管理の推進に携わる管理者・監督者、スタッフで、QC 七つ道具の基礎的知識を有する方。ただし、経営方針を決定する立場にある経営者・経営幹部も可とします。
 - (2) 年齢は 20 歳以上で、原則として、3 年以上の実務経験を有する方。
 - (3) 大学卒またはこれに準ずる職歴を有する方
 - (4) 英語による聴講、討論、発表、報告書作成ができる方
 - (5) 心身健康な方
 - (6) インドに居住の方
 - (7) 学生でない方、軍に籍をおいていない方
 - (8) 過去に低炭素技術を輸出するための人材育成支援事業及び技術協力活用型・新興市場開拓事業（研修・専門家派遣事業）の研修制度で来日した方は、帰国後半年（183 日）以内に開始されるコースに応募することはできません。
- * 勤務先が日系企業、日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業の方が望ましい。（日系企業や日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業からお申込みいただいた場合、選考時の優先順位が高くなります。）

注意：

- (1) コース参加者は、研修コースの全てのカリキュラムに参加する必要があります。
- (2) 日本へ家族を同伴することはできません。
- (3) 参加者は AOTS に対してプログラムの追加を要望したり、自身でプログラムを計画したりすることはできません。このコースの終了後速やかに帰国しなくてはなりません。ただし、日本の受入企業がこのコースの終了後、現地研修を計画し、AOTS の承認を受けた場合はこの限りではありません。
- (4) 日本以外の先進国資本が入った企業からお申込みいただいた場合は、選考時の優先順位が低くなります。

- (5) 本研修は、主に民間企業・団体に勤務する方を対象としているため、中央・地方政府機関からお申込みいただいた場合は、選考時の優先順位が低くなります。
- (6) 申し込み人数が定員を上回る場合は、日本の受入企業または海外の派遣企業 1 社当たりの参加人数を制限させていただくことがあります。

5. 応募方法：

日本国内の法人（親会社等）を通じて申し込む場合と、海外の現地法人が直接 AOTS に申し込む場合では、応募方法、提出書類等が異なりますので、ご注意ください。

- (1) 管理研修参加後に実地研修を希望する場合、受入企業となる日本国内の法人（親会社等）を通じて申し込む必要があります。
- (2) 日本国内の法人を通じて申し込む場合、渡航費は対象となりません。

(日本国内の法人を通じてのお申込みの場合)

- (1) 仮申込み：お電話、または E-mail にて検討されている研修の概要（研修対象者の属性、実地研修の有無等）をご連絡ください。そのうえで、以下の応募書類を 2022 年 12 月 22 日（木）までに、AOTS 研修・派遣業務グループ（14. お問い合わせご参照）までご提出ください。

1. 研修申込書（概要） 2. 研修生個人記録並びに研修契約に関する申告書 3. 事前研修レポート

- (2) 本申込み：仮申込み受理の連絡を受けた後、本申込みに必要な書類の準備、段取りなどについて、ご案内いたします。

※ご不明点等ありましたら研修・派遣業務グループまでお問い合わせください。（14. お問い合わせご参照）

※上記 AOTS 所定様式は当協会ホームページからダウンロードできます。

【日本語】<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/download/#kanri-shinkokoku>

(海外の現地法人から AOTS に直接お申込みの場合)

AOTS 海外協力機関を通して、以下の応募書類一式を PDF・エクセル両方の形式で、2022 年 12 月 22 日（木）までに AOTS 事業統括部に到着するよう提出してください。

応募書類の提出期限は、各団体によって異なりますので、AOTS 事業統括部（13. お問い合わせご参照）にお問合せください。

お申込者には AOTS 海外協力機関による面接をさせていただきます。

- (1) 研修申込書、研修生個人記録申告書（AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください）

※PDF・エクセル両方のソフトコピーを提出

- (2) 日本企業との取引および日本市場への参入に関する調査票 ※エクセル

- (3) 問診書（AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください） ※PDF

- (4) 研修生個人情報取り扱いについて（AOTS 所定様式） ※PDF

- (5) 海外旅行保険承諾書（AOTS 所定様式） ※PDF

- (6) 研修契約に関する申告書（日系派遣企業用） ※PDF

- (7) AOTS が定める新型コロナウイルスの防疫事項遵守に関する誓約書 ※PDF

※上記(1)(3)、(4)～(7)の書類は、本人が署名の上ご提出ください。内容に同意いただけない場合、または未提出の場合、コースへの参加が認められません。

- (8) 勤務先概要を紹介する資料 ※PDF

- (9) 顔写真データ（データタイトルに氏名を入力してください） ※JPEG または PDF

- (10) パスポートコピー ※PDF

※パスポートをお持ちでない場合は、自動車免許証コピーや ID カードコピー等（公的機関により発行されたもので、写真があり、ローマ字で氏名、生年月日が記載されているもの）を提出してください。

- (11) 事前研修レポート(PRE-TRAINING REPORT)とアンケート1(Questionnaire 1) ※WORD

注意：

※他にも必要に応じて書類を求めることがあります。

※上記 AOTS 所定様式については AOTS 事業統括部（14. お問い合わせご参照）にお問合せください。

提出された応募書類は、2023 年 1 月 26 日（木）の審査委員会で審査されます。審査結果は審査委員会終了後、AOTS より連絡いたします。

注：応募者が締切日時点で 22 名に満たない場合、本コースを中止または延期する場合があります。

6. 研修コースの概要：

■ 目的

本コースでは、企業活動における品質全般に対し、その維持・向上を図っていくための経営管理手法の Total Quality Management (TQM) を取り上げ、日本企業が実践している TQM への理解を深め、TQM・品質管理活動の推進の正しい進め方と経営者・管理者の役割を理解するとともに、QC 的視点での問題解決能力向上を目的とします。

■ 期待される効果

- (1) 日本企業が実践している TQM 活動の基本を正しく理解することができます。
- (2) TQM 活動の推進における管理者の役割を明確に認識することができます。
- (3) TQM 推進に必要な仕組みや手法を実践的に使えるようになります。

■ 期間

2023年3月2日（木）～3月17日（金）（16日間）

■ 内容

【ステップ 1】

TQM の基本としてその概念とその進め方、及び QC 的ものの見方・考え方の概要を学びます。

【ステップ 2】

日本の TQM 実践において重要な「日常管理と方針管理」、「品質保証」、「生産システム」、「QC サークルによる人材育成」について、講義、演習（ケーススタディ及びシミュレーション）、企業見学を通して体系的に学び、日本企業の強みについて理解を深めます。

【ステップ 3】

QC 的視点による「問題解決と継続的改善」について各グループで測定データを活用した実践的演習を通じて QC ストーリーとしてまとめ発表し、帰国後の自社の課題に向けた TQM 推進の取り組みにつき自身の役割を認識します。

コースは通常午前 3 時間、午後 3 時間の講義からなり、夕食前にグループ討論が行われます。
日程表（予定）をご覧ください。

■ 使用言語

講義、企業見学、演習は英語あるいは英語通訳付で行われます。コースで使用する資料と教材は英語で作成されます。

■ コースディレクター

西敏明氏

岡山商科大学大学院経済学研究科教授、岡山商科大学経営学部教授、岡山商科大学経営学部長、日本品質管理学会 理事、デミング賞委員会委員。品質をコアとした経営の考え方の理解とその深化を主要なテーマとし、研究に携わっている。

■ 研修場所と宿泊施設（予定）

AOTS 関西研修センター（KKC）<http://www.aots.jp/jp/center/about/kkc.html>

558-0021 大阪府大阪市住吉区浅香 1 丁目 7-5

電話：06-6608-8260（受付） ファックス：06-6690-2678

インド品質管理研修コース [INQC] 日程

2023年3月2日～3月17日

AOTS 関西研修センター（予定）

月/日	午 前	午 後
3月1日 (水)	来日 抗原定性検査キットによる受検と結果報告 ※受検の義務については、研修申込書内「AOTS が定める新型コロナウイルスの防疫事項遵守に関する誓約書」を参照	
2日 (木)	オリエンテーション 開講式	【講義】TQMの基本 ・TQMの基本的概念、歴史の変遷 ・品質の定義、管理との違い ・TQM推進のための組織 ・TQMとその効果、新しい課題
3日 (金)	【講義】TQMの進め方とQC的ものの見方・ 考え方 ・QCストーリーの意義 ・QCストーリーの活用方法	【演習】QC的ものの見方・考え方 ・事例を用いた新製品開発に向けたQCストーリーの演習 ・マップ、SWOT分析、クロス表の作成、分析の演習
4日 (土)	休日	
5日 (日)	休日	
6日 (月)	【講義】方針管理と日常管理 ・方針管理の進め方とその手順 ・日常管理の進め方と必要な管理項目 ・機能別管理の構造とその進め方 ・方針管理、日常管理、機能別管理の関係	【演習】方針の策定と展開 ・事例を用いた演習を通じた方針書・実施計画書・方針展開方法の理解
7日 (火)	【講義】QCサークルによる人材育成 ・経営の視点における改善活動の意義 ・QCサークル活動を通じた人材育成の理解 ・QCサークル活動における推進者の役割の重要性 ・問題解決の方法、手順	【演習】QCサークルの活性化策の作成 ・QCサークル活動の活性化をテーマに特性要因図・系統図の演習
8日 (水)	【講義】工程の管理と改善 ・QC七つ道具の各ツールの理解、データのまとめ方 ・PDCAによる工程管理の理解 ・工程の改善活動、問題解決の手順、方法	
9日 (木)	【講義】生産システムの確立 ・生産システムの基本 ・資材所要量計画(MRP)の基本 ・JIT(カンバン方式)の基本 ・MRPとJITの融合方法	【講義】生産システムの事例研究 ・MRPによる生産システムの構成方法、および工場への生産指示の方法の理解 ・カンバンシステムを組み込むための要点の理解
10日 (金)	【見学】QCサークル活動事例	【見学】TQM推進事例
11日 (土)	休日	
12日 (日)	休日	

13日 (月)	【講義】品質保証の進め方 ・品質保証の意義と変遷 ・各ステップごとの品質保証活動の理解 ・ISO9000の基本 ・品質保証のさまざまな評価基準、方法	【演習】QC工程表の作成 ・QC工程表の作成演習
14日 (火)	【演習】問題解決と継続的改善の体験学習（球Cゲーム） ・QCストーリーに沿って、各技法を用い、発射台から打ち出されたゴルフボールの停止位置の精度改善する問題解決と継続的改善の演習 ・データの収集	
15日 (水)	【演習】問題解決と継続的改善の体験学習（球Cゲーム） ・同上及びデータの分析	
16日 (木)	【演習】問題解決と継続的改善の体験学習（球Cゲーム） ・同上及び問題解決	
17日 (金)	最終発表	総合質疑／修了式
18日 (土)	(帰国)	

注意：

- (1) 上記のスケジュールは、講師や協力企業の都合、その他のやむをえない事情のために変更されることがあります。
- (2) 夕食後グループ討論を行うことがあります。
- (3) 土・日曜は原則として休日ですが、必要に応じて講義の予定が組まれることがあります。

7. 到着日及び出発日について：

参加者は、原則として研修開始日の前日に日本に到着し、研修終了日の翌日に日本を出発することとします。前日に、AOTS 研修センター入館時に配布される抗原定性検査キットを用いて自身で受検し、結果をAOTS に報告してください。

※受検の義務については、研修申込書内「AOTS が定める新型コロナウイルスの防疫事項遵守に関する誓約書」を参照下さい。

8. 経費：

<日本国内の法人からお申し込みの場合>

以下の試算例をご参照ください。

いずれの試算例も、コース開始前日来日・終了日翌日帰国 2週間（16日）コース
関西国際空港・関西研修センター間移動の場合です。

【試算例1】中堅・中小企業の場合 補助率2/3

3/1 来日・3/2～3/17 研修コース参加・3/18 帰国

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	182,360	[2/3] 121,573	[1/3] 60,787
2. 研修実施費	516,000	348,000	168,000
合計	<u>698,360</u>	<u>469,573</u>	<u>228,787</u>

【試算例2】大企業（一般分野）の場合 補助率1/3

3/1 来日・3/2～3/17 研修コース参加・3/18 帰国

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	182,360	[1/3] 60,786	[2/3] 121,574
2. 研修実施費	516,000	302,000	214,000
合計	<u>698,360</u>	<u>362,786</u>	<u>335,574</u>

【試算例3】大企業（重点分野）の場合 補助率1/2

3/1 来日・3/2～3/17 研修コース参加・3/18 帰国

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	182,360	[1/2] 91,180	[1/2] 91,180
2. 研修実施費	516,000	318,000	198,000
合計	<u>698,360</u>	<u>409,180</u>	<u>289,180</u>

※受入費は下記受入費基準額一覧をもとに計算しております。そのほか、国内移動費（成田空港・東京研修センター間）および厚生費（管理研修期間中の海外旅行保険代、コース開始前日の抗原定性検査代）が含まれます。

※渡航費は補助対象外となります。

※研修コース参加後に現地研修をご希望の場合、経費については、AOTS研修・派遣業務部 研修業務

グループ（14. お問い合わせご参照）にお問い合わせ願います。

※中堅企業とは資本金 10 億円未満の企業、中小企業とは中小企業基本法に規定する中小企業、一般企業とは中堅企業、中小企業以外の企業をいいます。但し、資本金又は出資金が 10 億円以上の法人に直接又は間接に 100%の株式を保有される事業者は中堅・中小企業としません。

※重点分野とは大企業のみが対象で、通常 1/3 の国庫補助率を 1/2 に引き上げられる案件で以下のいずれかに該当するものをいいます。

- (1) 実地研修が、開発途上国・地域の産業発展に大きく寄与する技術協力と認められるもの(新法人や新工場の立ち上げや先進的な新製品・新サービスの立ち上げの対応等(サプライチェーンの多元化・強靱化)に大きく寄与する案件を含む)
- (2) 海外進出先の対象国・地域がアフリカであるもの

◎受入費基準額一覧

AOTS 研修センター 宿舎費・食費	来日日のみ	8,600 円/泊
	来日日以外	9,440 円/泊
研修旅行時	宿舎費	10,267 円/泊
	食費	2,620 円/泊
雑費		1,040 円/泊

※管理研修終了後、実地研修を実施することができます。

その場合、以下の実地研修費が補助対象となります。

実地研修費	AOTS 基準	備考
実地研修に必要な経費に充当 (実地研修期間中における研修用資材、研修生の交通費、受入企業の指導員の人件費などの諸経費に充当するもの)	大企業 3,360 円/日	・日額単価・暦日 ・研修生への支払い方法は現物提供
	中堅・中小企業 5,190 円/日	

<海外の法人からお申し込みの場合>

英語版募集要項(The Program Outline)をご参照下さい。下記 URL より該当コースの募集要項をダウンロードください。

<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/management/course/>

9. 査証 (VISA) の取得について :

(1) 在留資格

日本で研修するために必要な在留資格は「研修」です。

(2) 査証の取得

参加者は、AOTS が発行する「GUARANTEE LETTER」等必要な申請書類をもって自身で在外日本国大使館/総領事館（以下「在外公館」とする）にて「研修」査証の申請、取得をしてください。ただし、申請書類が本省照会となり時間がかかる場合があるため時間に余裕をもって申請することを強くお勧めします。

(3) 注意事項

既に「短期滞在査証」、「短期数次査証」、「APEC・ビジネス・トラベルカード (ABTC)」等、「研修」以外の査証を取得している方、または査証免除国・地域からの参加者は、既存の査証が日本での研修コース参加という滞在資格に合致していることを事前に、必ず最寄りの在外公館にて事前確認してください。

10. 海外旅行保険の付保について

AOTS は、参加者に対し自国を出国した時から、自国に帰国するまでの期間を補償対象とした海外旅行保険を付保します。付保内容は傷病により医療機関で診療を受ける際の医療費と賠償責任・救援者費用で構成されています。別紙を参照の上、研修申込時に海外旅行保険付保に対する同意の意思確認のためサイン済みの同意書を提出してください。

1.1. AOTS が定める新型コロナウイルスの防疫事項遵守に関する誓約について:

参加者は当協会の研修への参加申し込みに当たり、参加者の来日前及び来日後の滞在期間中において、AOTS が定める遵守すべき防疫事項を確実にを行うこと、日本滞在中は新型コロナウイルスに感染しないように必要な対策を行うこと、研修に支障が出ないように最善の注意をすることを誓約する必要があります。参加者は、研修申込書内の同誓約書を確認の上、研修申込時に同意の意思確認のためサイン済みの同意書を提出してください。

1.2. 日本入国時の検疫措置について:

日本入国時の検疫措置は次の通りです。

<https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/bordercontrol.html>

1) 有効なワクチン接種証明書がある場合

到着時検査、入国後待機とも不要です。

そのほか、入国にあたり質問票に記入する必要があります。

有効と認められるワクチンについては下記のリンクを参照ください。

有効なワクチン接種証明について：<https://www.mhlw.go.jp/content/000997373.pdf>

2) 有効なワクチン接種証明書がない場合

出国前 72 時間以内に検査を受け、医療機関等により発行された陰性の検査証明書を入国時に、検疫所へ提示してください。

そのほか、入国にあたり質問票に記入する必要があります。

有効な検査証明書があれば到着時検査、入国後待機とも不要です。

有効と認められる検査証明書については下記のリンクを参照ください。

出国前検査証明書について：<https://www.mhlw.go.jp/content/000825144.pdf>

※ファストトラックの推奨

検疫手続きを早く進めるため、ファストトラックの利用をお勧めします。

ファストトラックの利用には「MySOS Web」または「MySOS」アプリによる事前登録が必要です。

「MySOS Web」または「MySOS」アプリを利用すると自身の接種証明や検査証明が有効かどうかも判別されるため、ぜひ利用ください。

ファストトラックについて：<https://www.hco.mhlw.go.jp/en/>

1.3. 個人情報の取扱いについて:

AOTS が取得する応募者の個人情報については以下のとおり取扱います。

(1) 個人情報の管理者： 一般財団法人海外産業人材育成協会 総務企画部長

連絡先： 総務企画部 総務・人事グループ

電話：03-3888-8211 E-mail: kojinjoho-cj@aots.jp

(2) 利用目的

ご提供いただいた個人情報は、参加者受入及び研修実施に関する事務手続きのために利用します。それ以外の利用目的または法令に基づく要請の範囲を超えた利用はいたしません。

尚 AOTS の個人情報保護方針は、<http://www.aots.jp/jp/policy/privacy.html> をご覧ください。

14. お問い合わせ：

一般財団法人 海外産業人材育成協会

日本国内の法人を通じてのお申込の場合 kigyo-inquiry-az@aots.jp

企業連携部 研修・派遣業務グループ

住所 〒120-8534 東京都足立区千住東1丁目30-1

電話：03-3888-8221

Fax：03-3888-8428

E-mail: kigyo-inquiry-az@aots.jp

海外の法人から直接のお申込の場合

事業統括部 海外協力グループ

住所 〒120-8534 東京都足立区千住東1丁目30-1

電話：03-3888-8256

Fax: 03-3888-8242

E-mail: shouhei-au@aots.jp

※各国の海外協力機関についての情報は事業統括部海外協力グループにお問合せください。

※本募集要項に書いてある要件は2022年10月11日時点の日本政府の水際対策に基づきます。日本政府の水際対策、療養解除条件の変更により、要件が変わる可能性があります。

PRE-TRAINING REPORT

- The Quality Control Training Course for India -
[INQC]

The form of "Pre-Training Report" for this training program is composed of the following two documents: Pre-Training Report itself and Questionnaires 1. These documents will be used as a reference material in 1) the screening process of applicants and 2) the group discussion and the presentation to be held during the program by sharing with lecturers and other participants. Therefore, the applicant is requested to fill in all of the items clearly and concretely.

***AOTS will not use this information for any other purposes other than an AOTS training program.**

Note: Please fill in the following items by using a personal computer or similar equipment in English. Handwriting should be avoided.

1. Your name	
2. Your country	
3. Name of your company/ organization	
4. Outline of your organization (Please give a brief description or outline of your company/organization. In addition, please also attach a brochure of your company/organization if available)	
5. Your position and name of your department/division (preferably by attaching an organizational chart indicating your position)	
6. Your duties in detail	

<p>7. Present activities for quality improvement in your organization</p>	
<p>7-1. Does your organization organize any QC circle activities? <input type="checkbox"/>Yes <input type="checkbox"/>No</p>	
<p>8. Most critical problem you are now facing in your quality improvement activities</p>	
<p>9. How has the recent spread of coronavirus infection affected your company's quality control activities?</p>	
<p>10. How have the depreciation of the Japanese yen, high oil prices, and high material prices affected your company's quality control activities?</p>	

11. Your expectations of the program in relation to the described problems

Name	Country
------	---------

Questionnaire 1

Level of Comprehension

Please indicate the level of your comprehension by checking the appropriate boxes.

Level a : You have ever applied it in your work.

Level b : You know what it is. Or you have ever learned it in school or by yourself.

Level c : You do not know it well. Or you have never heard of it.

No.	Subject	Comprehension			No.	Subject	Comprehension		
		a	b	c			a	b	c
1	Pareto diagram				17	TPM			
2	Histogram				18	PDCA cycle			
3	Cause & Effect diagram				19	QC circle			
4	Scatter diagram				20	QC story problem solving			
5	\bar{X} -R control chart, X-R control chart				21	Quality deployment/ Quality function deployment			
6	p chart, np chart				22	Quality table			
7	u chart, c chart				23	FMEA/FTA			
8	Stratification				24	Design review			
9	Relation diagram				25	QC process chart			
10	Tree diagram				26	Standard operation procedure			
11	Matrix diagram				27	Process capability			
12	Normal distribution				28	Cost of quality			
13	Standard deviation				29	Management by Policy (Hoshin Kanri)			
14	3-Sigma rule				30	Daily (work) management			
15	SQC				31	Cross Functional management			
16	TQM				32	ISO9001			